

# R1. 11. 12除雪作業出動式を開催

滋賀国道事務所では、除雪作業を迅速に行う決意と、安全に対する意識の向上を図ることを目的に、11月12日(火)に国道161号今津スノーステーション(高島市今津町)において、除雪作業出動式を開催しました。

出動式では、森本事務所長より関係機関と連携し安全で円滑な交通確保を目指し事務所・出張所・受注者が一丸となった雪害対策に取り組もうと訓示を行いました。来賓として高島警察署長をお招きした他、事務所職員及び管内の除雪作業受注者など約30名が参加し、地域の信頼に応える決意を新たにしました。

出動式の前後には、今冬の気象予測についての勉強会、除雪作業者の災害対策基本法に基づく立ち往生車両の移動訓練及びスノープラウ(排雪板)脱着訓練を実施し作業手順などの確認を行い冬本番に備えました。



【事務所長訓示と列席者】



【除雪機械出動】



【藤井高島警察署長のご挨拶】



【スタック車両移動 実施手順の確認】

## 朝日新聞(13日朝刊25面)

本格的な降雪シーズンを前に、国土交通省滋賀国道事務所は12日、高島市今津町の国道161号今津スノーステーションで、除雪車の出動式をした。事務所は管内を走る国道1、8、21、161号の計243キロの除雪を担い、除雪車など88台を供し、委託した6社が雪害対策期間(今年20日～来年3月25日)中に除雪にあたる。この日は事務所職員ら6社の社員ら約30人が参加した。

本格的な降雪シーズンを前に、国土交通省滋賀国道事務所は12日、高島市今津町の国道161号今津スノーステーションで、除雪車の出動式をした。事務所は管内を走る国道1、8、21、161号の計243キロの除雪を担い、除雪車など88台を供し、委託した6社が雪害対策期間(今年20日～来年3月25日)中に除雪にあたる。この日は事務所職員ら6社の社員ら約30人が参加した。



冬に備え除雪車の訓練  
高島で国道事務所職員ら

## 京都新聞(13日朝刊22面)

各本番を前に、滋賀161号沿いにある国道事務所は12日、高島市今津町今津のスノーステーションで除雪作業出動式を行った。

関係者約30人が出席した式典では、森本和貴事務所長が「雪害対策は、雪害の発生よりも少ないのが見てもいい。スノーステーションで、どんな状況にも対応できるように、気象情報や最新の除雪機に力をつけてほしい」と訓示した。続いて、高島警察署長が「11日、現在で今年の管内の交通事故死者は昨年比20人増の52人となり、重大事故が続いている。この除雪期間に設定した除雪作業と連携を」と話した。

深め、万全を期したい」と話した。

関係者約30人が出席した式典では、森本和貴事務所長が「雪害対策は、雪害の発生よりも少ないのが見てもいい。スノーステーションで、どんな状況にも対応できるように、気象情報や最新の除雪機に力をつけてほしい」と訓示した。続いて、高島警察署長が「11日、現在で今年の管内の交通事故死者は昨年比20人増の52人となり、重大事故が続いている。この除雪期間に設定した除雪作業と連携を」と話した。



除雪に向け準備万端  
高島 滋賀国道事務所が出動式